

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成21年度	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまっづくり
	中項目	基本施策	03 災害に強いまちづくり
	小項目	施策	01 河川改修・砂防施設整備
事務事業名		05	災害復旧事業
根拠法令・例規等		公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法	
問		担当課(室)	都市整備課
合		職・氏名	土木係長 尾野田瑞穂
先		電話	0869-64-1850
このシート作成に要した時間		2.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市管理で災害により被災した河川・道路
目的(何のために)	台風等の大雨により被災した箇所の早期復旧を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	災害箇所は住民の生命・財産・生活に大きな影響があるため、早期復旧を図る。

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	災害復旧事業	台風等により被災した河川や道路を原形復旧を基本として際に復旧を行う。	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		7,849	0	11,160
	必要人員人件費	千円	1,397	0	0.34人 1,856
	事業費計		9,246	0	13,016
	国県支出金		3194		6509
	受益者負担				
	繰入金債	千円	3700		
その他( )					
一般財源		2,352	0	6,507	
受益者負担比率	%				
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	説明		工事箇所1箇所当りの活動コスト		
	結果指標量	事業	9	0	5
	対前年比%		-	0.0%	
	活動コスト	円	9,246,000	0	13,016,000
単位当たりコスト		1,027,333	#DIV/0!	2,603,200	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
早期復旧した箇所数(復旧率)	目標値(A)	100	0	100	100
	実績値(B)	100	0	100	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	#DIV/0!	100.00%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
当年度復旧箇所数/災害箇所数					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>A</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>B</b>
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> <b>A</b>

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	平成21年災害は21年度にすべて復旧できた。22年に災害が発生すれば早期復旧に努める。					

総合評価	
平成21年災害はすべて復旧することができたが、災害査定に至るまでの作業を効率よく行う必要がある。	評価区分 <A-E> <b>A</b>

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	災害が起きたときに早急に対応できるよう準備を整えておく必要がある。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項  
 留意事項の目的やその数値目標を達成するための下書きを

